

大般若経修復勸募のお願い

大般若経をイタリアへ

長学寺では2組の大般若経を所有し、1組は修復を行い祈祷会に活用しており、もう1組の欠本があり使用していない大般若経を修復しイタリアへ寄贈させていただきます。コロナ禍にあるイタリアの普伝寺では山内にこもり、日々修行生活に打ち込み、励ましあいながら生活しているということで、大般若経を活用しさらなる発展を願い13教区で寄贈事業を立ち上げることになりました。つきましては、皆様からのあたたかなご支援ご協力をお願い致します。

普伝寺は、ミラノから南に車で1時間半、サルソマッジョレ・テルメという町にあります。1984年に開かれた曹洞宗の寺院で、大本山永平寺直末の認可を得ています。普伝寺には大般若経がないということで、永隣寺副住職の赴任によってご縁をいただき、イタリアで活用される運びとなりました。富岡市からイタリアへと大般若経が伝わり、有意義に末永く活用されることは非常に仏縁に恵まれた事となります。



大般若経とは

大般若経とは、「西遊記」にも出てくることで有名な三蔵法師玄奘がインドより般若経典群を持ち帰り翻訳した600巻に及ぶ経典です。曹洞宗のお寺では、大般若経を守護する十六善神図を掲げ「大般若経」をお読みして、「作物がよく実り、災難が起こらず世の中が平和であるように」と心をこめてお祈りします。この行事を「大般若会」といいます。「大般若会」では、「大般若経」の一番大事な所をまとめた偈文（短い難しい言葉）を唱えながら何人かのお坊さんで手分けして600巻をパラパラと勢いよくめくる「転読」を行い、全部をお読みしたことにします。偈文を唱えることで「大般若経」600巻をお読みしたのと同じ価値があると言われています。



曹洞宗群馬県宗務所
第13教区ホームページ

修復内容

大般若経

バラバラになった大般若経の修復（579巻）、欠本巻数の補充（21巻）、大般若経を10巻ずつまとめる帙（ちつ）というケースの新調（60個）、10巻ずつまとめた帙5個を収納する桐箱の新調（12箱）、となります。桐箱（12箱）は永隣寺住職を中心に13教区寺院にて桐材を購入し製作する予定です。



※修復完成イメージ

十六善神図

大般若祈祷会に必要な「十六善神図」の仏画の制作をふれあい写仏の会を主宰する細谷義昭先生が快く引き受けてくださり、すでに制作が始まっています。一年余りかけて制作し、完成した後は表具した上で普伝寺に贈られます。



修復寄贈必要総額

約300万円（大般若経修復、新巻補充、帙、桐箱、表具、輸送費、関税等）



新型コロナウイルス終息祈禱会

日時：令和2年6月30日（火）
会場：甘楽町 宝積寺

13教区内寺院にて、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、感染拡大の早期終息、罹患された方々のご快復、医療従事者をはじめご尽力いただいている皆様に感謝しその安全を祈願いたしました。堂内3密を避けソーシャルディスタンスに注意しての法要体制で執り行いました。コロナ禍で経験したことを元に新しい法要体制も考えていかなければなりません。

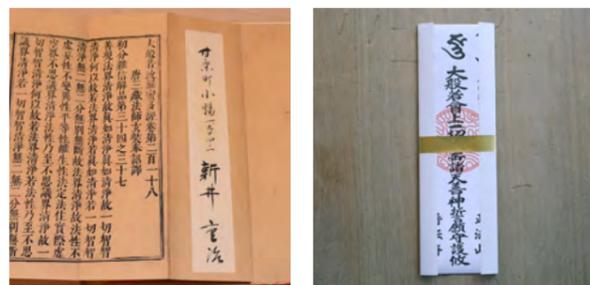


大般若経修復勧募

コロナ禍で苦しんでいるイタリア普伝寺へ大般若経を修復し、皆様から応援の力を届けたいと思います。日本から遠く離れたヨーロッパでも大般若経転読によって、世界平和や生活の安穩を願い祈禱会ができるようご協力をいただきたいと思ひます。

勧募方法

- ・大般若経は600巻です。1口につき3,000円となります。
- ・ご奉納いただいた方は経巻に、施主として記名させていただきます。
- ・現地僧侶と合同で大般若祈禱会を行い、ご祈禱したお札を送らせていただきます。
- ・令和2年11月末日までに申し込みをお願い致します。
- ・匿名希望の方は備考欄に記載下さい。



※写真はイメージです

申込みは同封の払込用紙をご使用ください。下記申込書に現金を添えて菩提寺（檀家になっている寺）へも可能です。尚、領収証は、払込用紙の受領証とさせていただきます。

大般若経修復勧募申込書

氏名				ふりがな	
住所	〒				
連絡先				菩提寺	
□数	□金額			備考欄	
氏名				ふりがな	
住所	〒				
連絡先				菩提寺	
□数	□金額			備考欄	

ご注意

令和2年11月末日までに申し込みをお願い致します。

曹洞宗

群馬県宗務所 第13教区報

臨時号

令和2年8月吉日発行

コロナ禍の中で 大般若経修復勧募のお願い

曹洞宗群馬県宗務所第13教区長 堀口元澄

東京オリンピックに胸を躍らせて迎えた令和2年でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のために、大変な年となりました。また、7月には九州等で豪雨による甚大な被害が発生してしまいました。新型コロナウイルス感染症や、豪雨による土砂災害等で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

6月20日に予定していた「第16回微笑会（みしょうえ）」は、感染拡大防止のために中止となりました。やむを得ぬこととはいえ、主催者の13教区護持会（中野薫明会長）にとっても苦渋の決断でした。

13教区では、6月30日に新型コロナウイルス感染症終息を祈願して「大般若祈禱会（だいはんにゃきとうえ）」を行いました。曹洞宗では、こうした法要で、「大般若経」という600巻もある経典を使います。ご存じのように、イタリアでは感染爆発がおり、多くの方が亡くなりました。当教区との縁を深めているそのイタリアの普伝寺には大般若経がないということを知り、長学寺生沼善裕住職より、長学寺に二組ある内の一組を提供して下さることとなりました。ただ、古いもののため、多額の修復費用等がかかります。そこで広く皆様に修復費用のご寄付をお願いすることとなりました。くわしくはこのあとの記事をお読みいただき、ご協力をお願い申し上げます。

早く世界中に安らかな日々が戻ってきますように、みんなで助け合ってこのコロナ禍を乗り越えていきましょう。



九州豪雨支援

九州豪雨支援として20万円拠出する事が決まりました。

- 13教区より10万円
- 13教区護持会より10万円